

広報

No. 205

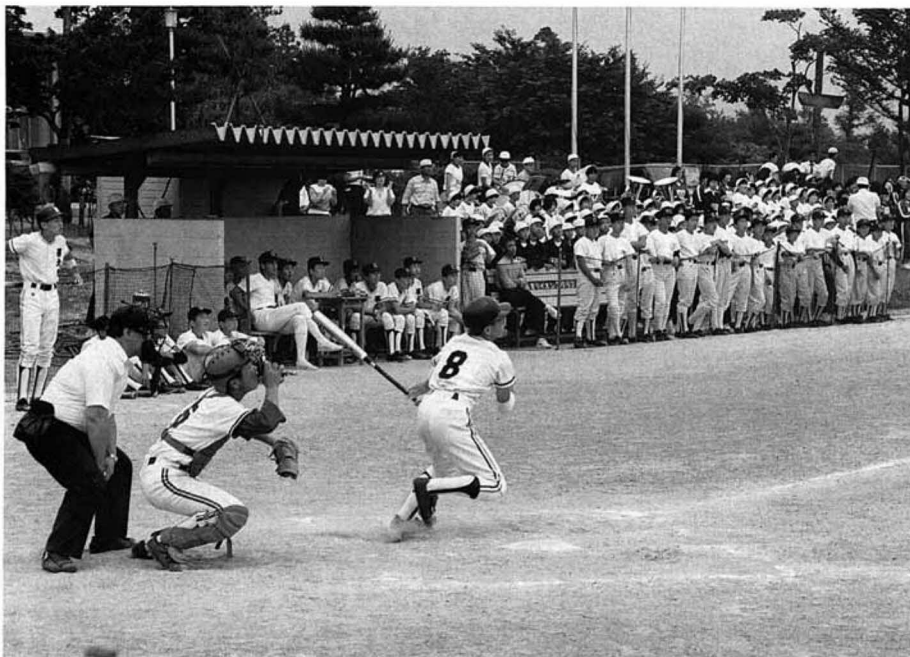


平成2年7月15日

発行・編集 国見町企画商工課

10月1日は国勢調査.....	2~3
町消防団定期点検.....	4
観月台公園文化センターが 地域づくり推進事業に指定.....	5
“社協”加入状況のお知らせ.....	6
県北中、中体連で健闘.....	7
おしらせ.....	8~9
公民館だより.....	10~11
わだい.....	12

※※※おまな内容※※※



ナイス バッティング

'90 7月

6月13・14の両日、伊達支部中体連総合体育大会が各町を会場に開催され、各種目に熱戦がくり広げられました。

桑折町町民グラウンドで行われた野球は、各学校とも持てる力を十分に発揮し、好試合を展開しました。順調に勝ち進んだ県北中は、決勝戦で梁川中と対戦。惜しくも0-1で敗れ、準優勝しました。

考えるために 国勢調査



第十五回目当たる今年の国勢調査。五年ごとに行われているこの調査の中でも、今年は十年に一度の大規模な調査の結果です。

今回の調査結果は、高齢化、国際化が進むなかで、その実態をとらえ、来る二十一世紀に向かって行政の在り方を見直し、考える、国にとっても、地方自治体にとっても貴重な資料となるものです。国勢調査の実施においては、すべての方に調査票を正確に記入していただき、回収する。それが、調査結果をより正確にし、より信頼できる資料とすることにつながるの、いうまでもありません。

そのためには、皆さん一人ひとりの方の理解と協力が不可欠です。今回の調査対象は、全国で約一億二千万人。皆さんのご協力をお願いいたします。

〈21世紀の日本を 考える基礎です〉

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は大正九年から五年ごとに行われ、今回は十五回目。日本に住んでいるすべての方が対象となり、今回は全国で約一億二、四〇〇万人に及ぶと見込まれています。

〈国勢調査は文化の バロメーター〉

国勢調査は、「人口・住宅セクサス」として世界各国で実施されていますが、対象の把握や内容の精度において、わが国の国勢調査は国際的にも高い評価

を受けています。

〈21世紀の日本を 考える基礎です〉

○(一)に「国勢調査二関スル法律」が公布され、第一回国勢調査は大正九年(一九二〇)の十月一日に実施されました。第一回当時は、「文明国の仲間入り」が合言葉でしたが、現在の国勢調査は、豊かな文化を次世代のために生かす、ということになるようです。

〈簡単です、安心です 調査内容〉

調査は、まず、九月下旬に調査員がお宅にお伺いし、世帯ごとに調査票を配布します。調査内容は全部で二十二項目。ご家

族全員の氏名、出生の年月、就業の状況などです。旅行などで一時留守にしている方、長期滞在している方、生まれたばかりの赤ちゃんも含まれます。また、アパートなどに一人暮らしの方、下宿している方は、未成年でも学生でも、世帯主としてご記入ください。他に漏れたり、統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられています。どうぞ安心して、ありのままを正確にご記入ください。調査票は後日、調査員が集めに伺います。

〈調査票は 大切に扱って〉

さかのばれば第一回国勢調査の集計は手作業で行われ、最終的な統計が得られるまで、なんと九年も要しました。現在では、調査票の読み取りは、「光学式マーク読取装置(OMR)」という機械にかけて行われます。そのため、調査票を折り曲げたり、丸めたり、破つたり、汚したり、ごはんつぶなどを付けたりしないようにご注意ください。また、記入に当たっては、調査票と一緒に渡される「調査票の記入の仕方」をご覧ください。記入漏れや誤記などがないように、正しくご記入ください。

調査の対象調査の場所

国勢調査では、住民基本台帳などの届出に関係なく、平成二年十月一日現在、受持ち調査区内にふだん住んでいる人(また、はふだん住んでいるとみなされる人)すべてを、その人がふだん住んでいる場所で世帯ごとに調査します。

○十月一日現在すでに三か月以上町内に住んでいるか、または、十月一日前後を通じて三か月以上住むことになっている人。

○出張ぎ、旅行、出張などで一時的に自宅を離れている人で、十月一日前後を通じて不在期間が三か月未満の場合は、当町で調査します。

○定まった住居のない人で、十月一日の前後を通じて三か月以上わたって住んでいる所も住むことになっている所もない人は、十月二日現在いる場所で調査します。

○病院・療養所などの入院患者で、入院してから三か月にならない場合は自宅で調査し、三か月以上(七月一日以前に入院した人)になる人は、病院・療養所で調査します。

○船舶に乗り組んでいる人は、自宅で調査します。



みんなの未来を

10月1日

〈暮らしに
生かされます
調査結果〉

ところで、国勢調査はなぜ必要なのでしょう。この調査は、単にわが国の人口を調査するというだけではなく、調査の結果は、これからの行政の重要な基礎資料となります。国勢調査は、わが国が抱えている人口についてのさまざまな問題を明確にし、最も効果的な対策を生み出していくために不可欠な調査であり、国の政治や行政の重要な資料になるのです。

例えば、いま日本は世界に類を見ない急ピッチで人口の高齢化が進んでいます。このため、新しいさまざまな行政施策を打ち出さなければなりません。私たちもまたどんな意識をもち、どんな生き方で高齢化社会を生き抜いていかなければならないか、問題はたくさんあります。そういった社会の対応にこたえるための国の施策を検討するすべからず、国勢調査によるデータが、国勢調査によるデータです。高齢者の数、その進み具合、就業状態、地域分布、家族構成などが明らかになることで、老齢年金、老人医療などの福祉対策に必要な資料を得ることがで

きます。また、高齢化社会に伴う雇用の問題はどうかあるべきか、といったことを検討するときの資料としても大いに役立つのです。

さらに、地域別の統計から、その地域の問題を浮き彫りにできます。住宅問題、交通難、ゴミや汚水処理、あるいは公共施設、医療施設の充実など、さまざまな地域社会の課題を、より効果的に改善するための基礎的なデータが得られるのです。

〈国勢調査に
ぜひ、ご協力を！〉

その他にも、世帯数の変化は、住宅需要の動向や世帯を単位とする財産・サービスの需要などに大きく影響します。世帯数の変化やその形態の変わり具合を分析することによって、老人の一人暮らしが多いか、核家族化が進行しているか、あるいは三世帯同居が増加のきざしを見ているのかなどさまざまな社会的変化を明確にできます。このことよって、これからの社会に適應した政策や行政を行う貴重な資料が得られるのです。十月一日、国勢調査に、ぜひ皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

平成2年国勢調査の
マスコット

「センサスくん」登場

国勢調査では、生まれたばかりの赤ちゃんからお年寄りまで、すべての人が対象となります。

今回の調査では「センサスくん」が、10月1日の調査日に向けて、新聞・テレビなどに登場し、調査への協力を呼びかけますので、よろしくお願ひします。

おねがいします





▲町長の点検

火の守りの誓い新た

～消防団定期点検～

六月十日、町消防団定期点検が行われました。
午前九時に十一台の消防車で藤田市街地に整列した団員を觀望しました。

その後、藤田小学校校庭で通常点検、規律訓練、ポンプ操法、分別行進などが行われ、消防団員のキビキビした行動で、火の守りの誓いを新たにしました。

「団員皆さんの旺盛な士気と規律ある訓練の成果が十分に発揮され、誠に力強く消防団に對する信頼の度を一層深めました」と富永町長から講評があり、続いて阿部恒夫団長から「当町の消防施設、設備は年々充実され、これらの維持管理には万全を期し、有事の際には十分な効果が得られるように」と訓示がありました。

また、表彰並びに表彰伝達が行われ、前第一分団長の仲野周一郎さん、前第四分団長の後藤昌伸さんらに感謝状と記念品が贈られました。さらに、一般表彰者として、防火水槽用土地を無償で提供してくださった鈴木清二さん（西大枝字築館27）と山田和美さん（小坂字前31）のお二人が受賞されました。

消防功労者を表彰

6月10日に実施された「町消

防団定期点検」で、永年にわたって町消防に尽力された次の皆さんの表彰及び伝達が行われました。（敬称略）

消防庁長官表彰

○永年勤続功労章

阿部 恒夫・菊地 昭平

福島県知事表彰

○筆頭級

国見町消防団

○永年勤続章

穴戸 伊勢雄 瀬戸 孝

国井 好之

○優良運転章

井砂 善栄 齋藤 正

横山 孝夫 村木 一郎



▲第五分団によるポンプ操法

菊地 俊雄 木村 正義
吉川 清一 野村 安夫
長谷川 敬朗

県北地区消防連絡協議会長連名表彰

○ポンプ操法取組章

第五分団

日本消防協会長表彰

○功績章

阿部 恒夫

○精勤章

村上 公月

○勤続章

齋藤 栄司 石川 好一

小林 光雄 佐藤 洋一

浅野 武志

○功績章

菊地 昭平 佐藤 正巳

○精勤章

高橋 正一 吉田 喜八郎

佐藤 正明 大津 利勝

○勤続章

志村 孝明 穴戸 惣兵衛

渡辺 茂男 徳江 正美

吉田 洋一 羽根 俊一

吉田 義正 佐久間 衛

高橋 一吉

○退職団員感謝状

仲野 周一郎 後藤 昌伸
熊坂 正 齋藤 重美

佐藤 昭次 菊地 忠一
齋藤 孝一 遠藤 剛
秋元 正

伊達支部長表彰

○功績章

大津 利勝 齋藤 修一

石川 好一 佐藤 洋一

○精勤章

佐藤 錦佳 木村 正義

鈴木 文夫 横山 孝夫

吉川 清一 佐久間 利春

佐藤 正和 玉手 元治

佐久間 朝男 松浦 新一

小島 利夫

○永年勤続退職団員感謝状

村上 公月 佐藤 正巳

阿部 啓平 佐野 守

小林 光雄 佐藤 松男

阿部 孝 阿部 泰蔵

佐藤 豊之助 長谷川 宗夫

○優良団員表彰

吉田 吉雄 穂 苺 柴 治

広居 重夫

一般人感謝状

鈴木 清二 山田 和美

観月台公園文化センター

地域づくり 推進事業に指定

国では、多極分散型国土の形成を展望した政策として、「ふるさと創生事業」を行っていま

ふると創生事業は、地方が知恵を出し国が財政的支援を行うもので、昨年度は全市町村へ一律一億円の交付がなされました。

国見町では、この一億円をどう活用して地域活性化につなげるかを、ふるさと創生事業懇談会などでの議論を通じ検討し、観月台公園整備と阿津賀志山の保存整備の二つの事業を基軸として、町の活性化と発展の起爆



▲観月台公園文化センター構想図

剤としていくこととしました。

今回、国の「地域づくり推進事業」に指定された「観月台公園文化センター事業」は、現在の福祉センター周辺を、図書室・歴史資料展示・物産展示・各種会議室・トレーニングルーム・ブレイクルーム・浴室・文化ホールなどの各種機能を持つ文化会館と緑を活かした公園を整備しようとするものです。

この「地域づくり推進事業」とは、一億円を基盤とした永続的な地域づくり事業に国が財政支援を行うもので、今回は全国で二千億円です。その中に国見町のこの事業が指定を受けたもので、指定に伴い建設に要する総事業費に対して国の財政支援があります。具体的には、事業費の七五％を起債（町が国などから借入すること）対象とし、起債の元利償還金については自治体の財政力に応じて三〇〜五五％を国が自治体に対し交付税で補てんする仕組みです。

このように、国が積極的に支援する事業に指定されたことにより、観月台文化整備事業は、各機関での討議とコンセンサスを経て、国見町ふるさとゾーンとしての機能充実を果たすため平成四年完成を目指し基本設計から実施設計へと進むことにな

ります。

大岩機器工業所が

選定される

「ふるさと財団融資」

自治省の外郭団体、地域総合整備財団（ふるさと財団）は六月二十一日、地域振興に役立つ民間、第三セクターの事業を対象に行っている「地域総合整備資金貸し付け」（ふるさと融資事業）の平成二年度第一次分を決定しました。

対象事業は新規、継続分合わせて全国で六十七件、融資総額は計百六十八億七千四百万円に上ります。今回決定されたふるさと融資の中に、来年四月操業予定の大岩機器工業所に対し四億円の融資が含まれています。

ふるさと融資とは

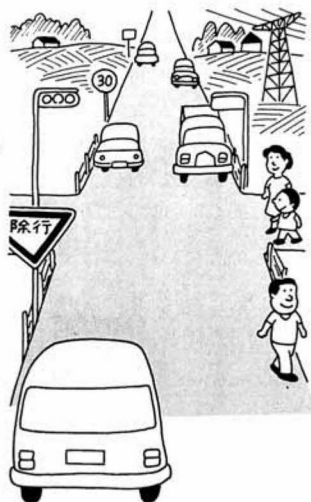
ふるさと財団が融資を希望する事業を審査して自治体にあっせん、これに基づいて自治体が事業費の二〇％（過疎地域は二五％）を上限に最長十五年の無利子融資をする制度、融資を引き受けた自治体は地方債の発行が認められ、その子分の七五％を地方交付税で補てんしてもらえます。

道路をまもる月間

道路にやさしく、
思いやりを！

道路は人が歩き、車が行き交うといった交通のためばかりでなく、電線や電話線、ガス管、上・下水道などの収容スペースとしても、大きな役割を果たしています。

8月は「道路をまもる月間」です。
道路にやさしく、思いやりを！



“社協” 加入状況の お知らせ



去る四月二日、国見町社会福祉協議会(略称「社協」)が法人化され、町民総参加による新

しい社協がスタートいたしました。

ご承知のとおり、社協の財源は、町補助金・委託金・共同募金配分金及び寄付金などで運営されます。しかし、その基本となるのは、町民皆さまからの会費で福祉活動を行うことが原則であります。

このことから、町内会長さんを通じて加入の促進をお願いしてきましたが、皆さまの深いご理解のもと、絶大な協力をいただき、社協への関心が一段と高まり福祉の輪の広がりを見、多くのあたたかい会費が寄せられました。深く感謝を申し上げます。ここに、七月十日までの加入の状況をご報告申し上げます、お礼といたします。

◇いつでも加入することができますので、その際は、社協事務局(☎85-2111 内線136)にご連絡願います。

記

・平成2年7月10日現在

1. 一般会費(1口1,000円)
2,518,000円(2,518口・2,497人)

2. 特別会費(1口5,000円)
1,305,000円(261口・258人)

3. 賛助会費(1口10,000円)
540,000円(54口・50人)

◇総計 4,363,000円
(2,833口・2,805人)

3 各課紹介 税務課

進めています。
税務課は、三係十名で次の仕事を行っています。

■主な仕事

- ◇賦課係(四名)
 - ・町果税賦課に関する事
 - ・法人町民税賦課に関する事
 - ・軽自動車税賦課に関する事
 - ・町たばこ税賦課に関する事
 - ・国民健康保険税賦課に関する事
- ・税務統計に関する事

- ◇固定資産係(三名)
 - ・土地台帳、家屋台帳、公園の保管
 - ・固定資産評価に関する事
 - ・固定資産税賦課に関する事
 - ・特別土地保有税に関する事

- ◇徴収係(二名)
 - ・諸税徴収に関する事
 - ・納税証明に関する事
 - ・公園、土地台帳、家屋台帳などの閲覧に関する事
 - ・軽自動車標識交付に関する事

町税は、生活環境の整備や教育文化施設の整備充実をはじめ、さまざまな福祉、ごみの収集など住民の皆さんに身近な町政に

充てられています。

このような仕事をするためには、お金が必要です。そのためのお金は、国からの補助金や地方交付税なども充てられますが、何ととっても一番重要なのは、皆さんに納めていただいている町税です。

平成二年度の町税の予算総額は六億七千九百十五万円で、その内訳は、固定資産税が四七・八%、町民税四二・一%、町たばこ税七・七%、軽自動車税一・八%、特別土地保有税〇・二%になっております。

このように、皆さんの町税は大切な財源となっております。これらについて、その仕組みや役割りをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

職員紹介

税務課長(☎内線150)
山田 久

賦課係(☎内線151)

吉田吉夫・八巻秋夫・佐藤克茂・佐久間茂

固定資産係(☎内線152)

小池芳男・武田京子・穴戸清寿

徴収係(☎内線153)

佐藤光一・渡辺アヤ子



ふるさとの文化財

(75)

徳江・塚野目への おおわけ 灌漑堰・小坂大分

菊池利雄



▲大分の堰場

古代の律令政府によって造成をみた、東北地方で有数の規模を誇った徳江・塚野目の条里水田は、阿武隈川の氾濫原に近い西根台地の末端部に位置することもあって、この地を流れる佐野(普懸)・久保田・瀧川の諸河川は台地面を深く浸食して、自

然の状態では極めて灌漑水の得にくい地帯に立地している。この条里水田を潤す基幹水路となったのは、延長約一・七kmにおよぶ塚野目の堀込より東に向けて堀られた中江堀(徳江堀とも呼ばれた)で、近世初頭以降は上杉藩によって開削された西根上堰より、安定した灌漑水の供給を受けて耕作が営まれてきたが、それ以前の古代、中世においては、その灌漑源をどの河川に求めたのか、中江堀を上流に向かってさかのぼってみることにしよう。

堀込の上流は、北半田の水口でさらに進めば西根上堰を越えて、泉田の泉秀寺前を流れる玉川に連なっており、その源流は泉田新田の子清水山に発している。現在の泉田新田は、小坂町西流にあり、西流の源流は、昔は武蔵山(山頂に「武蔵山」と記す)と記す。この玉川は流域が狭く、下流地に開かれた広大な条里水田の灌漑水を賄うことができず、その北側を流れている水量の豊富な瀧川の大分(直取)と呼ばれる地点で分水堰上げられ、玉川へ灌漑水の供給がなされていた。

文久元年(一八六一)の幕領「泉田村明細帳」には「当村田方用水之儀々、小坂泉田分水山より落合之水、右両村分水ニ而、往古より用來り申候」とあり、同年の小坂村の「奉差上村明細帳」にも「当村用水之儀、

木落川(瀧川)泉田小坂両村ニ而、当半分二用申候。」とあることから、条里制の施行時における、瀧川の水を玉川との両水系に折半する取り決めが踏襲され、中世末の天文五年(一五三六)に制定された伊達氏分国法「豊介集」にも、「用水の事、先規まかせたるべし……」として、灌漑水の利用について、前々からのしきたりは、これを尊重すべきことを規定した。近世においては、前にみた小坂・泉田両村の「明細帳」に書き上げられたように推移し、慣行水利権として定着、現在に至っている。

泉田の玉川沿いには貴船神社がある。貴船は木生根で本来は木の神であったが、平安京の飲み水賀茂川の上流に鎮座しているのので、いつしか水神として尊崇されるようになった。条里制下における、玉川下流の班田農民たちが、稲の豊作を貴船の神に祈り、勧請されたとも考えられる。

かつて、徳江・塚野目条里水田を灌漑した、用水堰瀧川よりの上げ口大分の現況は、コンクリート製に近代化されたことが、その起源は八世紀奈良時代頃にさかのぼり、国見の地域の開発に大きな足跡を残した、灌漑堰の遺構である。(福島農業史)

木落川(瀧川)泉田小坂両村ニ而、当半分二用申候。」とあることから、条里制の施行時における、瀧川の水を玉川との両水系に折半する取り決めが踏襲され、中世末の天文五年(一五三六)に制定された伊達氏分国法「豊介集」にも、「用水の事、先規まかせたるべし……」として、灌漑水の利用について、前々からのしきたりは、これを尊重すべきことを規定した。近世においては、前にみた小坂・泉田両村の「明細帳」に書き上げられたように推移し、慣行水利権として定着、現在に至っている。

泉田の玉川沿いには貴船神社がある。貴船は木生根で本来は木の神であったが、平安京の飲み水賀茂川の上流に鎮座しているのので、いつしか水神として尊崇されるようになった。条里制下における、玉川下流の班田農民たちが、稲の豊作を貴船の神に祈り、勧請されたとも考えられる。

泉田の玉川沿いには貴船神社がある。貴船は木生根で本来は木の神であったが、平安京の飲み水賀茂川の上流に鎮座しているのので、いつしか水神として尊崇されるようになった。条里制下における、玉川下流の班田農民たちが、稲の豊作を貴船の神に祈り、勧請されたとも考えられる。

泉田の玉川沿いには貴船神社がある。貴船は木生根で本来は木の神であったが、平安京の飲み水賀茂川の上流に鎮座しているのので、いつしか水神として尊崇されるようになった。条里制下における、玉川下流の班田農民たちが、稲の豊作を貴船の神に祈り、勧請されたとも考えられる。

伊達支部水泳大会 (%)

種目	順位	氏名
100M背泳女	1	平野綾子
200M背泳女	1	平野綾子
400M自由形女	3	志村有希

伊達支部総合体育大会 (%~%)

◇団体

種目	順位	種目	順位
野球	2	剣道(女)	3
バスケットボール(男)	3	柔道	3

◇個人

種目	順位	氏名
剣道(2年男)	1	瀬戸裕二
〃(〃)	2	玉手孝人
〃(3年男)	3	瀬戸正人
〃(3年女)	3	高橋美紀
柔道(軽々量級)	3	半沢隼
〃(軽量級)	1	本田太郎
〃(重量級)	3	高橋竜也
卓球(ダブルス女)	3	長遠愛弓

平成2年度の中体連の各種大会は、5月31日の郡陸上競技大会を皮切りに、郡総合体育大会、郡水泳競技大会が実施され、各種目に熱戦が繰り広げられました。

県北中学校の各種競技代表選手は、日頃の練習の成果を十分に発揮し健闘しました。

県北中学校

中体連で健闘!



伊達支部陸上競技大会 (%)

種目	順位	氏名
1年 100M	1	黒田 享範
100M ハードル	1	後藤 安澄
3種 A	1	佐藤 さおり
3年 3,000M	2	松浦 裕貴
1年 100M	2	高原のぞみ
走高跳	3	後藤 美佳
3種 A	3	佐藤 真弓



自衛官募集

平成二年度高等学校卒業予定者の募集を、次のとおり行っています。

男子	待遇
二等陸海空士	◇初任給 121,000円
曹候補生	◇賞与 5.1ヶ月分
一般曹候補生	◇衣食住無料
航空学生	◇その他当座有り
防衛大学校学生	◇各種手当(防衛大学校)及び防衛医科大学校学生手当は74,000円)
女子	
二等陸海空士	
看護学生	
男子	
防衛医科大学校学生	

■問い合わせ

自衛隊福島募集案内所
 ☎(3)5529
 役場住民福祉課住民係
 ☎(85)2111内線131

正しく使って

楽しい花火

暑い夏がやってきました。日本の夏の風物詩、子どもたち

ちの花火遊びが盛んに行われるようになりまして。しかし、おもちゃの花火といえ、花火の原料は火薬です。安全に遊ぶには正しい使い方を子どもたちに家庭で指導をお願いします。

- 花火を人に向けたり、燃えやすいもののある場所で遊ばないようにしましょう。
- 風の強いときは、花火遊びはやめましょう。
- 衣服に火が付かないように注意しましょう。
- 水を用意しましょう。
- 大人と一緒に遊みましょう。
- 正しい方法で、正しい位置に点火しましょう。
- 遊んだ後は、後片付けを必ずしましょう。
- 吹きだし、打ち上げなど簡物花火は途中で火が消えても筒の中をのぞかない。
- 花火をほくして遊ぶことは、危険なのでしてはいけません。

予約受付中

市町村振興宝くじ

「サマージャンボ」

平成二年度の市町村振興「サマージャンボ宝くじ」が次のとおり発売されます。

この宝くじの収益金は、市町村の災害対策と明るく住みよい街づくりなどに使われます。

●宝くじの賞金

- 一等……………六千万円
- 二等……………一億円
- 特別賞……………五百万円
- 予約受付

7月19日～8月2日
 申込方法を詳しいことは、7月19日(休)の新聞紙上に発表されます。

●相談所を開設

行方不明の人をさがそう

あなたの身内で、行方が分からないままになっている方はいませんか。

県内で、家出などにより行方不明で、家出などにより行方不明で死亡したのに身元の判明しない方が一〇九人に達しています。警察では、お盆や夏休みに当たる八月の一月間を「家出人行方不明者さがす月間」とし、各警察署に相談所を設け、相談をお受けしています。

親類や知人が集まりやすいこの時期は、行方不明者の情報も集まることが多いので、この機会に行方不明者の所在確認や無縁仏の身元確認などに努めようというものです。

写真や愛用品を用意する

相談所では、その場ですぐに相談に応じてくれます。行方不明者そのままで連絡先や体の特徴などを手がかりに、追跡調査や無縁仏の記録との照合が、警察の全国にまたがる組織を利用して行われます。

相談に行く際には、本人の写真やふだん愛用していたものなどを用意しておくこと、調査がよりスムーズに行われます。

四件に一件がその場で解決

平成元年は、全国で約七千件の相談がありました。そのうち二五％、つまり四件に一件がその場で解決しています。また、月間中に身元が確認された無縁仏は、年間確認数のおよそ半数(四四・六％)に上っています。身内の方や親類知人などに、行方不明の方がいてお困りの方は、

桑折警察署藤田駐在所
 ☎(85)2059

にご相談ください。

やさしく心で

豊かな観光

観光週間
 8月1日～7日

この夏休みに、海や山へ旅をして気分転換—思い切りフレッシュしよう、楽しいプランを立てている方も多いでしょう。

週休二日制が広まってきたことや、労働時間が次第に短縮されてきていることから、自由時間が増え、観光はわたしたちの生活の潤いに欠かせないものとなってきています。

ところが、せっかく旅行に出かけても、美しい自然景観などが傷つけられていたり、壊されていたり、観光地が空き缶やゴミなどで汚されていたりしては、行楽の楽しい気分も台無しです。

観光地を訪れる人のなかには、ゴミを散らかしたまま帰ったり、高山植物や岩石などを採ったりするなど、心ない行為をする人も少なくありません。

また、観光地に捨てられるゴミなどは、特に入出の多い夏に集中します。しかも、かなり広い範囲にわたって散らばるため、地元でこれを始末することなどは困難です。

旅行する人たちが、自分だけ行楽気分を満喫すればよいという、独りよがりの考えをやめ、観光地をかかえる地元の人たちや後から訪れる旅行者の気持ちになって、行動することが大切です。そのためには、一人一人が旅先でのマナーに気をつけ、より一層みんなで観光地の美化に努めましょう。

作文募集

「夏休みの思い出の旅」

もうすぐ楽しい夏休み。

東日本旅客鉄道(東東北地域本
社福島支店主催、福島県教育委
員会及び福島民報社後援による
「夏休みの思い出の旅」作文を、
次の要領で募集します。奪って
応募してください。

▼応募要領

▼応募資格：福島県内の小学校
4～6年生。

▼応募内容：「夏休み期間中に
旅行した思い出」を作文にし
たもの。

▼応募要項

①400字詰原稿用紙4枚以内

②一人一編

③題名・学校名・学年・氏名
を必ず記入してください。

戸籍の窓口

(6月受付分)

出生おめでとうございます

子	名	保護者	町内会
住(あやか)	松浦	広光	戸内
哉(たくや)	後藤	昌彦	大南
子(ゆうこ)	安達	元昭	町田
織(さおり)	紺野	広信	大田
太(ゆうた)	佐藤	洋一	中東
和(ひろかず)	古川	孝雄	宮東
哉(しんや)	村上	喜久夫	山崎

結婚おめでとうございます

氏	名	町内会
菊池	二子	市北
阿部	隆昭	島田
大戸	昭喜	石田
佐橋	明美	折町
久間	修一	市南
園谷	美恵	町田
佐藤	雅恵	大南
佐藤	雅恵	大南
岩片	奈美子	川石

おくやみ申し上げます

氏	名	年齢	町内会
村上	三郎	73	宮東
佐藤	しみゑ	78	駅前
山末	吉	66	町北

作文募集

第40回 県グラフコンクール

福島県は、統計思想の普及向上のため、十月十八日の「統計の日」に向けて、小学生・中学生・高校生・大学生及び一般県民を対象に統計グラフを募集し

紙質・色彩	各部とも自由とするが、裏面は板張りや表面のセロハンカバーは不可。
大きさ	第1～3部：B2判 第4～5部：B1判
3規格	

4その他
一人で何点応募しても良いが、

ています。奮って応募ください。
▼応募要領
1資格
第1部：小学校3年生以下
第2部：小学校4～6年生
第3部：中学生
第4部：高校生及び大学生
第5部：一般
2内容
課題は各部とも自由。ただし、第1部の作品については、児童が観察した結果をグラフにしたものとする。

人口と世帯

7月1日現在(前月比)6月中のうごき

人	一男	5,683人 (-4)	転入	12人
	一女	6,188人 (-8)	転出	28人
口	計	11,871人 (-12)	出生	7人
世帯数		2,943戸 (-4)	死亡	3人

ちびっこ あつまれ!

第3回 納涼歩行者天国

～楽しいイベント盛りだくさん～

日時	平成2年8月4日(土) 午後2時から
場所	藤田中心街
内容	ポニーと遊ぼう・もちつき大会 ジャンケン大会・宝くじゲーム 子ども盆踊り・盆踊り・模擬店多数
主催	国見町商工会青年部

2枚以上にわたる「シリーズものは認めない。
▼締め切り：9月5日必着
▼発表：9月下旬
▼応募先・問い合わせ先
〒960 福島市杉妻町2-16
福島県企画調整部統計調査課
☎(21)1111 内線25556



7日 文月(ふみづき)

- 20日(金) 海の記念日
- 21日(土) 森と湖に親しむ旬間
勤労青少年の日
- 23日(月) 大暑
土用の丑

8月 葉月(はづき)

- 1日(水) 水の日
- 6日(月) 広島原爆記念日
- 8日(水) 立秋
- 9日(木) 長崎原爆記念日
- 15日(水) 終戦記念日

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)
時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

[相談員]

- 7月25日(水) 後藤 一・谷津 智恵
- 8月4日(土) 高橋藤右エ門・山内聰子
- 8月15日(水) 高橋 隆雄・牧野 容子



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

待望のオープン

森江野町民プール

森江野町民プールが完成し、六月二十三日午前十時からプール開きが行われました。

プール開きでは、富永武夫町長、菅野重雄県北下水道建設事務所長、松浦義男町議会議長、佐藤利雄町教育委員長がテープカット。富永町長が「このプールを活用して健康づくり、体力づくりに励んでください」とあいさつしたあと、早速県北中の



▲テープカットでオープンを祝う

水泳部員が模範泳を披露し、勢いよく水しぶきを上げていました。

森江野町民プールは、県北流城下水道浄化センター建設に伴う周辺対策事業として建設されたもので、滑り台が付いた幼児用プールもあり、シャワー、トイレ、更衣室などの設備も整っています。

開設期間は八月三十一日までで、時間は午前九時半から午後五時半。料金は大人百五十円、高校生百円、中学生以下は三十円。

ぜひご利用ください。

スポーツ柔道大会

優勝、準優勝

六月十日に行われた第43回福島県総合体育大会(県北大大会)で、みこと優勝、準優勝をわかちあい、七月二十二日(日)四倉高校体育館において県大会が行

われます。

ぜひ頑張ってきてください。



▲優勝した本田君(右)と準優勝の高橋君

ご健闘を祈ります。
優勝 県北中二年 本田太郎
準優勝 " 高橋竜也

成人学級

「史跡めぐり」に参加して

成人学級六月の学習会は、お隣の桑折町周辺の史跡めぐりでした。一行を乗せたマイクロバスが出発したのは、好天に恵まれた六日の午後のことです。

まず、伊達家初代朝宗の居城と伝えられる西山城を見学しました。途中、県指定天然記念物の大カヤを車中より右手に眺め、西山城は高館中館西館とあるうち、西館の見学です。



▲熱心に説明を聞く参加者

しげみを分けて山深く入ると、外堀の外堤や石塁土壁が今なお残っており、天文の乱の時などさぞかし烈しい戦いが行われたであろう事に思いを馳せ、今昔の感に堪えませんでした。

それから観音寺、俗にいう坂町の観音様に詣で、郡役所に着きました。ここは何度も訪ねた事があり建物も周知の通りでしたが、折りしも県北びびたき短歌の会の作品が展示されており、わが一行の中にも出展されている方がおられ、興味深く見学しました。

次は桑折寺です。ここは山門が有名で室町時代の建造物で、県重文に指定されているとか、銅板葺でした。最後には、伊達朝宗の墓を尋ねました。墓碑と

墓石とが別々に静かに安置されており、光明寺にある朝宗夫人の墓にも思いをはせた事でしたが、以上ごとの見学でしたが、ちょっとしたハプニングがあったとはいえ、一同無事終了し、ホッと帰路につきました。大変有意義な見学でした。

県民スポーツ大会

町代表決まる

県民スポーツ大会家庭バレーボール町予選会が六月十七日、町民体育館で熱戦が繰り広げられ、耕谷バレーチームが優勝。七月二十二日行われる県北大大会(保原町体育館)に、町代表として出場します。

ご健闘を期待します。



▲優勝した耕谷チーム

市町村対抗 駅伝出場に向け 町駅伝 競走部設立

六月二十三日、町公民館において、国見町駅伝競走部の設立総会が開催されました。

この部の設立は、今年第二回を迎える市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会に参加をすることと、平成七年の福島国体に向けて、平成七年の福島国体に向けて育成強化を図ることを目的としております。

これまでに、中学生以上の町民の中から広く部員を募ることを目標に、各地区のスポーツ振興会会長、町走ろう会の方々を中心に準備をすすめてきました。設立総会では、約三十名の部員出席のもと、町長から「チームプレーの中で個人のベストを尽くして下さい」とあいさつがあり引き続き部則、予算、役員、合同練習について承認されました。

役員は、顧問に富永武夫町長、部長に神津武志藤田地区スポー

ツ振興会会長、監督に八巻忠義県陸協役員が決定し、十一月下旬に開催予定の県縦断駅伝競走大会での活躍を誓い合いました。駅伝競走部は、いつでも部員として加入できることになっておりますので、町公民館、教育委員会へお問い合わせ下さい。

電気教室に参加して

46億年の贈りもの

玉木 洋子

今年度の電気教室は、中央婦人学級の学習の中におこられ六月六日に開講式が行なわれました。

春日公民館長さん、ならびに講師である東北電力桑折サービスセンターの斎藤所長さんの挨拶があつてから、「46億年の贈りもの」(地球とエネルギー資源というビデオを見て頂きました。地球の誕生、そして人類の源である生物の出現から人類の出現にいたるまで、それにエネルギー資源であるウラン、また、石油が太古の生物により長い年月のもと自然の中で作られた事など、興味深く見せていただいた。資源が私達への自然からの贈りものとして、再認識する事ができました。その資源があつたと四十年ぐらいでなくなってしまうことにはショックをうけると共に、資源を大切に使用し、自然をいたわり、守り、大自然との共存共栄でなくてはならないと思ひました。また、限りあるエネルギー資源が少なくなつてきている中で、原子力発電の必要性を感じました。

その後、東北電力の社員の方々から、発電から一般家庭に電気が供給されるまでの経路や発電盤についての知識等の講義がありました。最後に、「教育・文化と生涯学習」ゆとりと生きがいを求めて」というビデオを見せて頂きました。

ふだん何気なく使われている電気、日常生活に欠かせない電気をもう一度、見つめ直したいと思ひます。



▲生活に役立つ電気教室

婦人学級旅行に 参加して

野ばら婦人学級

佐久間久子

今回の研修旅行の行先が平泉の中尊寺と聞き、昨年の奥州八百年祭を思い出し、特に深く関心を持ちました。中尊寺といえは、奥州藤原氏の初代清衡公が多宝塔や二階大堂など多くの堂塔を造営し、その趣旨は長い戦乱で亡くなったひとの霊をなぐさめ、仏国土を建設したものと。しかし、十四世紀に堂塔は焼失し、わずかに金色堂と経蔵だけが遺つた。十六年の歳月を費して完成した金色堂には、本尊阿弥陀如来を中心に十一体の仏像が安置され、金銀珠玉をち



▲金色堂前で記念撮影

りばめ極楽浄土をあらわしている須弥壇(しゅみだん)のなかには、藤原四代の御遺体(ミイラ)が納められていて、内部の装飾には目をうばわれてしまいました。

二日前からわが家の一員となつたアラジル研修生、庄司光子さんも一緒に参加しました。長旅の疲れも見せず、日本古来の文化に感激していました。

すばらしい文化を持つ平泉と、歴史の流れの中で関わりを持つ国見町を誇りに思います。そのほかにも厳美渓を見学し、歴史と文化、自然を体験しながら、他の四学級との親睦も深まり、初夏の香りを満喫して参りました。

◇スポーツ大会のお知らせ

▷第11回少年ソフトボール大会
と き：7月29日(日)
と ころ：町民運動場

▷第7回スポ少ソフトボール大会
と き：8月12日(日)
と ころ：町民運動場

わだ
い



ご結婚おめでとう

八島富一さん・百合子さん

山崎字中川前一八、八島富一さんと、今年三月末までブラジルからの農業研修生として来町していた宇野百合子さんの結婚披露宴が六月五日、福島国見町農協会館で行われました。

披露宴には、県、町、農協などをはじめ各種団体の関係者、新郎・新婦の親類、友人ら約二百五十人が出席しました。盛大



▲盛大に行われた富一さんと百合子さんの結婚披露宴

な拍手の中、紋付き、はかまの富一さんと白むく姿の百合子さんが緊張した表情で入場。「富一さん・百合子さんの結婚を祝う会」代表の八島博正さんのあいさつのおと、媒酌人の菊地太三

農協五連副会長・福島国見町農協組合長が、お二人のなれそめなどを紹介しながら「日本とブラジルの懸け橋になってほしい」と激励、富永町長が「富一さんの愛と百合子さんの努力で、幸せな家庭をつくってください。お二人の幸せが、日本とブラジルの立派な国際親善になります」と祝福しました。

祝宴では、二人の力を合わせ、てウエディングケーキに入刀。多くの方々から祝福と激励を受けていました。

河川クリーンアップ作戦

ご協力ありがとうございました

ご協力ありがとうございました

- 参加人員……二、七八八人
- ゴミ収集量……八トン
- 土木建設業協会より
- ダンプ協力……二四台

七月一日、河川クリーンアップ作戦が全町一斉に行われ、各地区の皆さん約二千八百人が参加し、町内を流れる滝川・牛沢川・普蔵川をはじめ各河川とその支流で清掃作業をしました。



▲大勢の参加をいただきました

当日は、河川敷などに投棄された空き缶、廃ビニール、廃材、紙くずなどのゴミの回収や雑木伐採、草刈りを行いました。

また、ゴミの搬出には町内の建設業者の皆さんの、積極的な応援をいただきました。水は生命の源、そして水は貴重な資源です。川は宝、水辺はわたしたちの暮らしに安らぎと潤いを与えてくれます。わたしたちは遠い昔から河川の限りない恩恵を受けながら暮らしを立ててきました。現在は、ほとんどの市町村が河川水を水道用

水に利用しています。これからも、ゴミを流さない、洗剤は無リンのものを使うなど、河川の浄化に心がけ、魚の住める、ホテルの飛び交う美しい川にしたいものです。

ようこそ

ブラジル国農業研修生

四月十五日、ブラジル国女子農業研修生が来町。今後一年間、国見町、桑折町、梁川町の農家にホームステイし、地域の人たちと交流を深めます。

これは、三町で組織された国際交流受入協議会（会長・菊地太三、福島国見町農協組合長）が企画したもので、今回訪れた研修生は庄司光子さんら日系二世、三世の独身女性六人。庄司さんは日本の農業技術を習得するほか、日本語研修、農業後継者との交流会などに参加します。

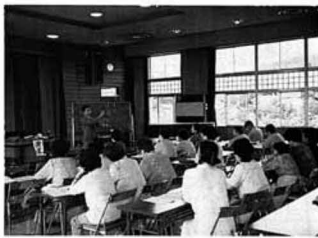


▲富永町長を表敬訪問した研修生

して開催した「薬草教室」が七月二日、町福祉センターで行われました。

当日は、梁川町で港屋漢方堂を営む薬草研究家の貝津好孝先生を講師に迎え、参加された約二十人の皆さんは、熱心に講義に聞き入っていました。

講演は身近にある薬草の採取と調整法、その効用などについて詳しい説明があり、受講された皆さんから多くの質問が出され、熱の入ったものになりました。



▲薬草教室

薬草教室開かれる

町保健課と町健康づくり推進協議会が、健康づくりの一環として

梅雨が明けるといよいよ夏本番を迎えます。子どもたちの待ちに待った夏休みももうすぐ。痛ましい水の事故や交通事故などに十分気をつけて、楽しい夏休みを過ごしてください。（K）

編集日記